

地域ごとの取組事例 (兵庫県神戸市)

平成26年3月19日

1. 神戸市の特徴

- ・神戸市は、平清盛の時代から栄えてきた神戸港、六甲山の美しい自然、異国情緒あふれる北野異人館などの優れた景観と、神戸牛、灘の日本酒、有馬温泉などの魅力的な観光資源を有している。
- ・神戸は国際戦略港湾である神戸港とともに発展し、高速道路や新幹線など、神戸空港など広域幹線ネットワークの結節点でもあり、観光の促進に関する様々な取組を行っている。
- ・2008年10月ユネスコ創造都市ネットワークデザイン都市に認定された。

○基本情報

- ・人口 : 約154万人
- ・面積 : 552km²
- ・年間入港船舶数 : 約36,000隻
- ・年間入港船舶総トン数 : 約18,400万t
- ・観光入込客数 : 3,282万人 (H24)



神戸港



メリケンパーク※

※クルーズ船用ターミナル等が配置されたウォーターフロント緑地



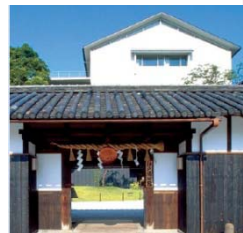
六甲山



北野異人館



神戸牛



灘の酒蔵



有馬温泉

神戸市HPより

KOBE
AREA MAP

神戸市HPより

2. 魅力的な景観

- ・海からの景観
海、街、山のコラボレーション
- ・山からの景観
神戸港を見渡せるオーシャンビュー



海からの景色
神戸市HPより



山からの景色
神戸観光壁紙写真集HPより

3. 沿岸部施設

海浜公園、海釣り堀、ヨットハーバー、人工海浜、港湾施設、クルーズ船用岸壁、海上プロムナード等



須磨海浜公園
神戸観光壁紙写真集HPより



須磨海釣り公園
神戸市HPより



須磨ヨットハーバー
神戸須磨ヨットハーバーHPより



神戸空港人工海浜
神戸市HPより



神戸港
神戸市HPより



クルーズ船着用岸壁
神戸市HPより



海上プロムナード(歩道)
神戸市HPより

4. クルーズ振興(ハード面)

- ・商業施設や繁華街に近接しており、ほぼ全てのクルーズ船に対応した岸壁やバス駐車場を整備している。
- ・大型クルーズ船用ターミナル2箇所(○神戸ポートターミナル : 岸壁延長:649m、水深:-12m)
(○中突堤旅客ターミナル:岸壁延長:286m、水深:-9m)
- ・神戸港発着の湾内クルーズ用旅客施設1箇所(かもめりあ)を整備しており、お土産等を販売する売店も整備。

神戸港におけるクルーズの現状

- * 神戸港へのクルーズ船入港実績 : 102隻(2013年実績)
- * 神戸港発着湾内クルーズ : 17便*/日 運航中(神戸コンチェルト、ルミナス神戸2、オーシャンプリンス、オーシャンプリンセス、ロイヤルプリンス、ファンタジー) ※臨時便は除く



・市街地やハーバーランドなど商業施設に近く、景観の良いウォーターフロントに立地。

・岸壁延長:286m 水深-9m
⇒ 5万トンクラスの客船の着岸が可能。

・岸壁延長:649m 水深-12m
⇒ 15万トンクラスの大型客船の着岸が可能。

・ポートライナーで「三宮駅」から5分、「神戸空港」から13分
⇒ アクセスに優れ、フライ&クルーズに最適



大型クルーズ船受入れターミナル

バスターミナル
(大型クルーズ船用ターミナル)

湾内クルーズ用旅客施設
(かもめりあ)

5. クルーズ振興(ソフト面)

- ・CIQ施設を完備した、迅速な入国審査体制
- ・3,500人の入国審査が約1時間半で完了



- ・臨時観光案内所や外貨両替施設をターミナル内に設置



- ・市民クルーズや市民船内見学会の実施



通常の乗船料金より低廉な価格を設定。クルーズの魅力や楽しさを幅広く体験して頂き、神戸港を身近に感じて頂く。

- ・市街地までの無料シャトルバス



- ・多言語案内標識の充実



5. クルーズ振興(ソフト面)

- ・消防隊や市民、客船歓迎サポーターによるクルーズ船寄港時のお出迎え。
2013年クルーズ船「アムステルダム」寄港時には、客船フェスタ※を開催した。
- ・お土産コーナーを常設しており、寄港時には通訳や案内ボランティアを配置している。
- ・クルーズPRコーナーの設置(神戸港入港客船のパネル展示等)

クルーズ船寄港時のお出迎え



消防隊によるお出迎え



多くの市民や客船歓迎サポーターによるお出迎え



※客船フェスタ

- ・客船歓迎サポーターを中心としたステージイベント
- ・クルーズセミナーの実施(クルーズの魅力や楽しさの紹介)
- ・神戸の特産品等の販売
- ・クルーズ・フェリーPRコーナーの設置、グッズ販売



ステージイベント



特産品等の販売

6. クルーズ船寄港による経済波及効果

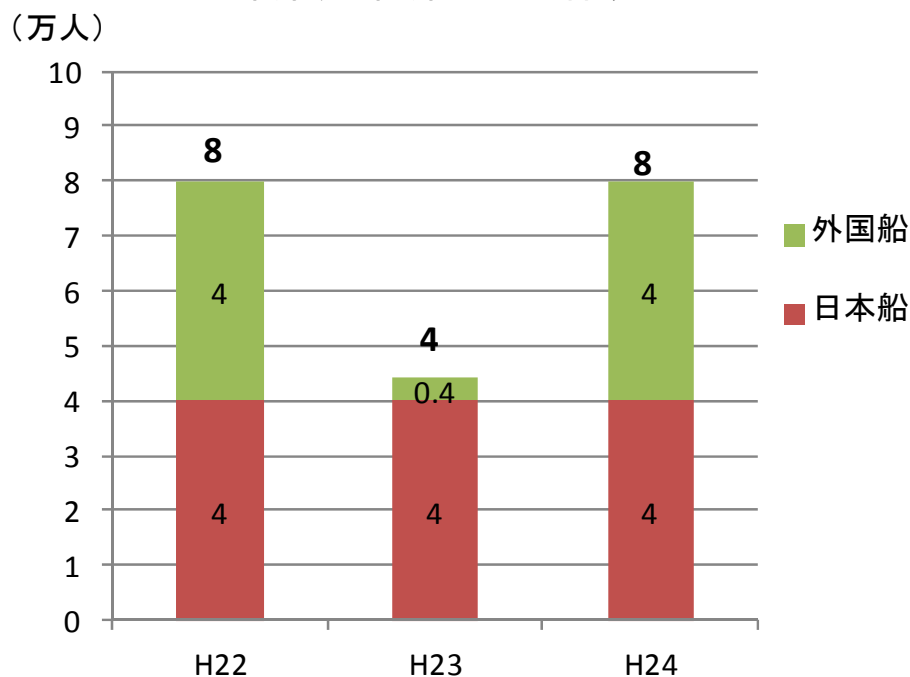
- ・平成24年の神戸港へのクルーズ船(外航・内航)寄港回数は110回であり、日本第3位である。
- ・平成24年の神戸港におけるクルーズ船利用客数は、外国船※1は約4万人、日本船※2は約4万人であった。
- ・平成24年に入港したクルーズ船寄港による、兵庫県内への経済波及効果は年間約36億円※3と試算されている。

※1 外国船社のクルーズ船

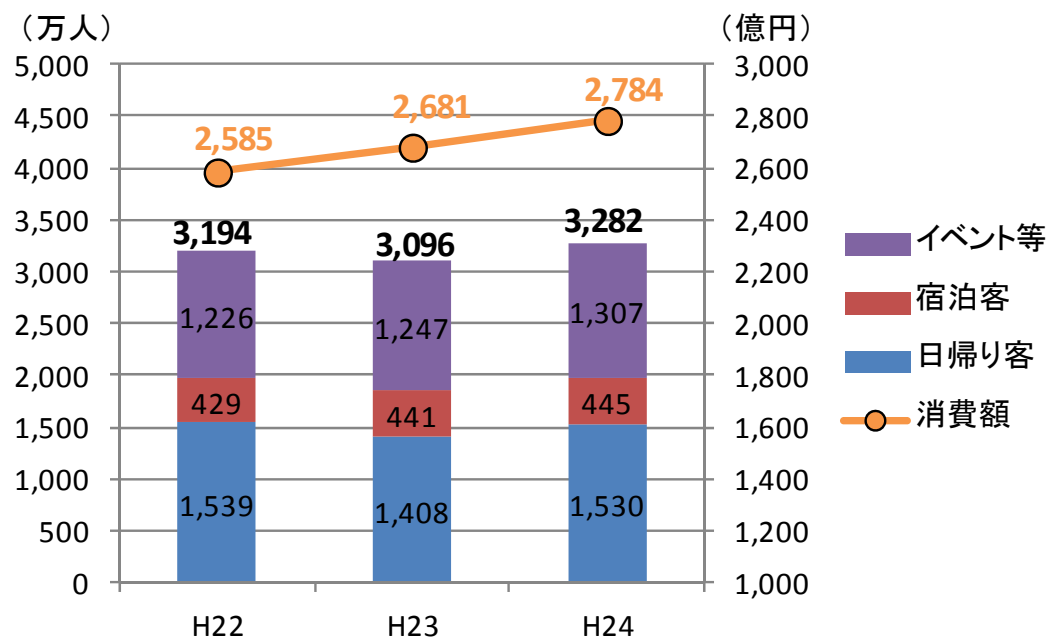
※2 日本船社のクルーズ船

※3 2013年11月20日 日本銀行神戸支店 神戸港の質的変貌 より引用

日本船、外国船の利用客数



(参考) 観光入込客数及び消費額



○消費額単価は年度により異なるが、概ね下記のとおり。

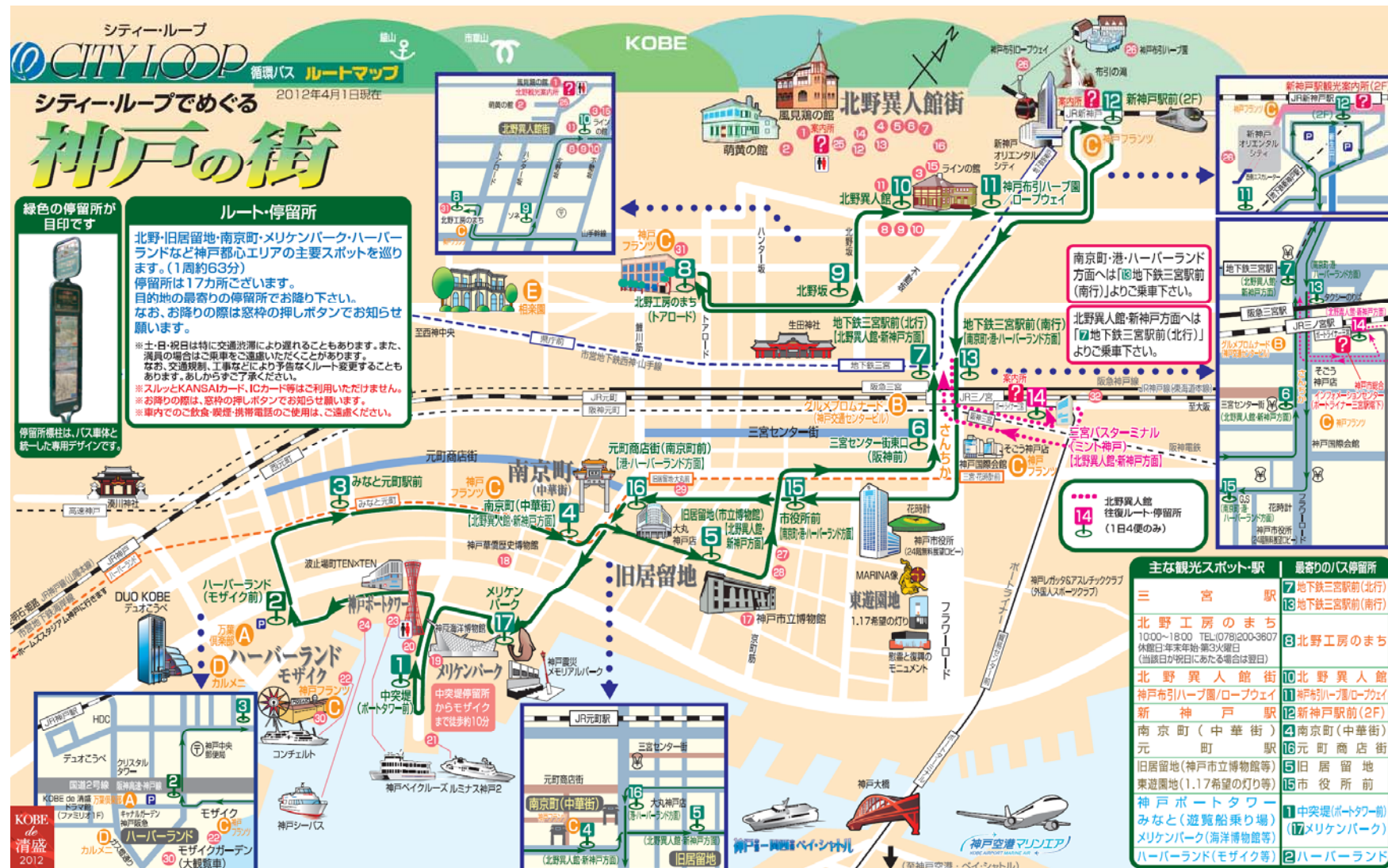
・日帰り客：8,600円/人

・宿泊客：33,000円/人

神戸市(陸域との連携)

7. 陸域との連携手段

- ・交通手段として、空港、ポートライナー、地下鉄、ロープウェー、シティーグループバス等の施設がある。
- ・海と街と山が近接しており、短時間で港から街や山にアクセス出来るため、神戸の陸域の観光資源との連携が容易。



7. 陸域との連携手段

- ・神戸港を発着点として、5隻(神戸コンチェルト、ルミナス神戸2など)により湾内クルーズが運航している。
- ・所要時間は2時間程度で、昼間、夕方、夜間の時間帯で運航しており、観光ルートの一部として組み込むことが可能。
- ・神戸港を発着点として、水陸両用車による定期観光ツアーが運航しており、海と陸の観光資源を一挙に楽しめる。

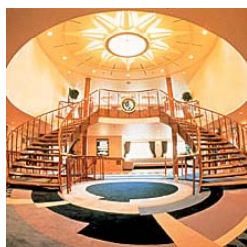
湾内クルーズ



神戸コンチェルト(神戸コンチェルトHPより)



ルミナス神戸2(ルミナス神戸2HPより)



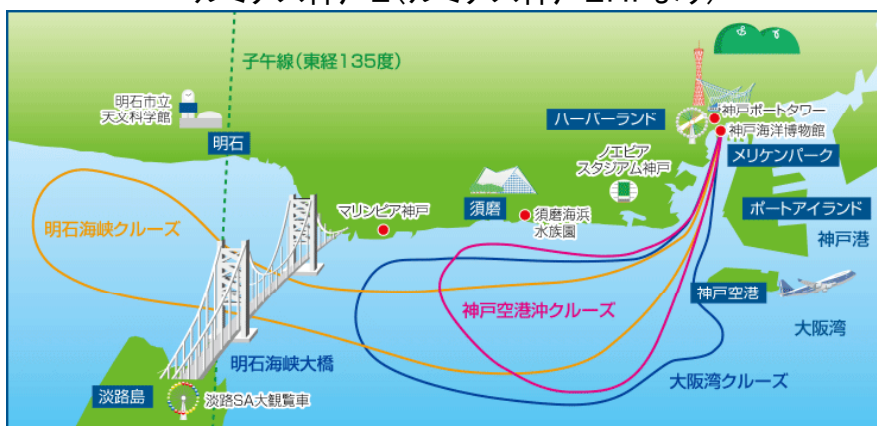
<湾内クルーズの運航例>

- ・コース: 神戸の町並み、造船所、神戸空港、明石海峡大橋、淡路島など大阪湾を一望できるクルーズ。
 - ・時間帯: 1便(12:00~14:00)、2便(16:00~17:30)、3便(19:00~21:20)
 - ・価格: 2,100円~3,150円
 - ・備考: チャーターや船上ブライダルも可能
- 備考: 更にお手軽なクルーズも運航している(1,000円~1,200円、1時間程度)

水陸両用車による定期観光ツアー

<水陸両用車の運航例>

- ・コース: 旧居留地や北野異人館、港への入水を約80分で周遊しており、乗り場が湾内クルーズ発着地点の近傍であり、湾内クルーズ等と組み合わせることも可能。
- ・時間帯: 平日は10時~15時で3便、土日は10時~16時で5便運航。
- ・価格: 3,000円



クルーズコース例(ルミナス神戸2HPより)



水陸両用車周遊コース(スプラッシュHPより)



Feel KOBE HPより

8. 陸域の観光資源

六甲山と 1,000万ドルの夜景



灘の酒蔵



有馬温泉



日本庭園 (相楽園)



中華街 (南京町)



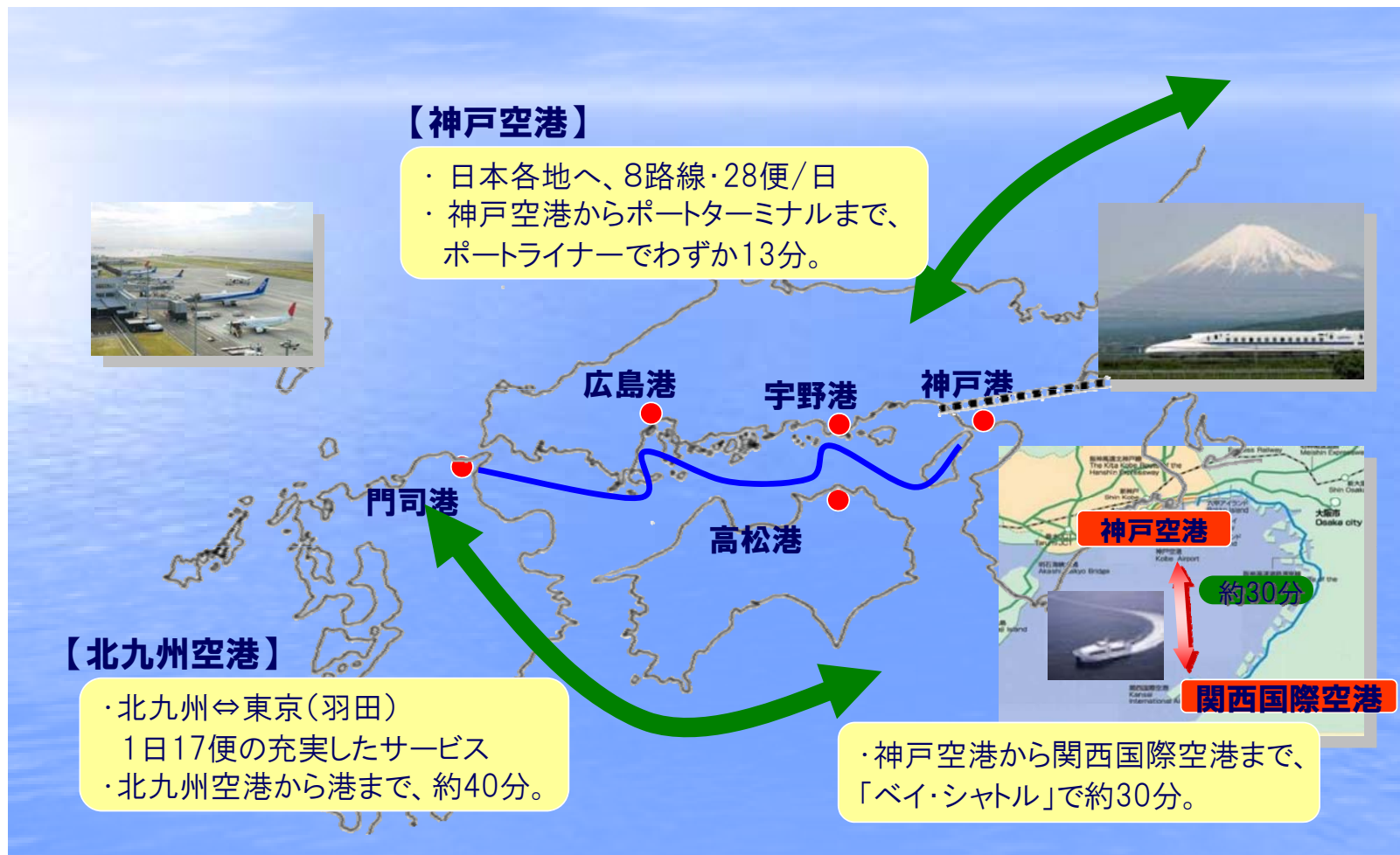
神戸スイーツ



神戸ビーフ

9. クルーズせとうち

- ・平成19年に、神戸港、宇野港、高松港、広島港の4港で「クルーズせとうち」が発足。
- ・共同パンフレットやポストカード等記念品の作成、船社への共同セールスを行っている。
- ・広域からの集客にむけた支援策を実施。(ホームページ等での広報支援、ボートチャージの減免等)



10. 市民への啓発

- ・人工海浜部(神戸空港)において、海浜植物の種まきや育成実験の実施。
- ・前肢を失ったアカウミガメ(悠ちゃん※)に人工ヒレを装着。
- ・須磨海浜水族園主催で「須磨ドルフィンコーストプロジェクト(社会実験)」を実施。

※悠ちゃんは、2008年紀伊水道で両前肢の欠損した状態で混獲された。人工ヒレを装着して外洋へ返すプロジェクトが平成21年から開始。



海浜植物実験
神戸市HPより



悠ちゃん
神戸市HPより

須磨ドルフィンコーストプロジェクト(社会実験)

○目的

- ・須磨海岸のイメージアップ、地域経済活性化
- ・須磨海岸の環境保全、環境教育の推進
- ・いるかの行動の変化とその科学的検証



海的环境学習



クリーンキャンペーン

11. 条例による景観等の保護

- ・岸海から見た港、街並みや山並みの景観保護のため、条例により建築物高さを制限している。
- ・須磨海岸において、安全で安心して利用できる海岸を目指すとともに、美しい海岸を保全することを目的として、喫煙を全面禁止している。海水浴期間においては、指導員を配置して違反者に過料を徴収している。



須磨海岸における指導員巡回
神戸新聞HPより



景観保護のための建築物高さ規制
神戸市HPより

12. 一元的な観光情報発信

・ウェブサイト「神戸公式観光サイトFeel KOBE」にて、神戸への観光誘致、観光情報のPRを一元的に行っている。

ウェブサイトによる一元的なPR



PR例

観光スポット紹介



神戸シーバス ファンタジー



神戸市埋蔵文化財センター



神戸花鳥園



有馬温泉 太閤の湯



萌黄の館



まやビューライン

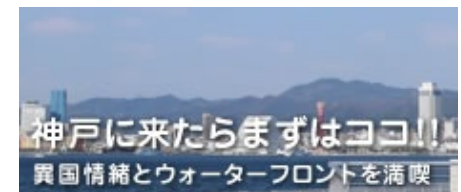
グルメ情報



イベント情報



定番観光モデルコース



宿泊情報

